

第4次肝炎対策計画のもとで、関係者が一体となってより一層連携するよう、今年度は、コロナ禍で中断（令和4年度は第4次計画策定中として見送り）していた「縣市町肝炎対策担当者会議」を4年ぶりに再開するとともに、開催回数を増やし、特に、肝疾患患者のフォローアップの取組の強化を図った。

第1回

日時 令和5年6月15日（木）10時～16時
場所 県庁会議室及びWEB
参加 21市町、全ての県保健所

【内容】

- 1 第4次計画における取組・事業の説明
- 2 意見交換
- 3 先進事例の共有
「川崎市でのフォローアップの取組」
川崎市及び国立国際医療研究センター
・受診確認の方法として、「二次元バーコードによるWEBでの本人申告」及び「検査医療機関への確認」を導入し、確認率が上昇
⇒「本人申告」について本県でも導入
- 4 受診勧奨マニュアルの検討
・検査結果判明時（陰性者向け・陽性者向け）や初回精密検査後（経過観察者向け・費用助成案内）の説明内容等
- 5 フォローアップシステムの運用見直し
対象者の優先順位付け
（3年以上受診確認できない者リストを市町と共有）

第2回

日時 令和6年2月21日（水）13時30分～15時
場所 県庁会議室及びWEB
参加 17市町、全ての県保健所

【内容】

- 1 市町別肝炎対策関連データの確認（現状認識の共有）
- 2 受診勧奨マニュアルの作成
⇒医療機関とも共有予定
- 3 本人申告による受診確認状況
- 4 取組事例の共有
（広島市） 重複受検防止の取組
・問診票情報のデータベース化
（東広島市） 陽性者への初回精密検査案内
・陽性者宅訪問による受診案内
・2年間フォロー
（海田町） 肝臓専門医へのアプローチ
・検査医療機関への協力依頼
（広島県） 肝炎デーの市町における普及啓発
- 5 意見交換